



非推奨の API

この付録では、非推奨の API、フィールド、およびメソッドを示します。非推奨の API を使用しないことを推奨します。これは、一般的にはその API が改善されたためであり、通常は代替の API が提供されています。非推奨の API は、将来の実装で削除される場合があります。

- [非推奨インターフェイス \(1 ページ\)](#)
- [非推奨フィールド \(1 ページ\)](#)
- [非推奨メソッド \(2 ページ\)](#)

非推奨インターフェイス

`com.cisco.jtapi.extensions.CiscoRouteAddress`

このインターフェイスは実装されていません。

非推奨フィールド

非推奨フィールド

`com.cisco.jtapi.extensions.CiscoAddress.APPLICATION_CONTROLLED_RECORDING`

`com.cisco.jtapi.extensions.CiscoAddress.DEVICE_CONTROLLED_RECORDING`

これらの定数は非推奨です。リリース 9.0 以降にアップグレードしたアプリケーションでは、新しい `SELECTIVE_RECORDING` 定数を使用し、非推奨の `APPLICATION_CONTROLLED_RECORDING` 定数および `DEVICE_CONTROLLED_RECORDING` 定数は使用しないようにする必要があります。リリース 9.0 以降のリリースの Unified CM と JTAPI は、`DEVICE_CONTROLLED_RECORDING` 定数を返しません。

`com.cisco.jtapi.extensions.CiscoProviderCapabilityChangedEv.MODIFY_CGPN`

この定数はどのインターフェイスからも返されません。アプリケーションでは使用しないでください。

`com.cisco.jtapi.extensions.CiscoProviderCapabilityChangedEv.MONITOR_PARKDN`

この定数はどのインターフェイスからも返されません。アプリケーションでは使用しないでください。

非推奨フィールド
<p><code>com.cisco.jtapi.extensions.CiscoProvCallParkEv.REASON_CALLPARKREMAINDER</code></p> <p>このインターフェイスはスペルミスのために非推奨になりました。新しいインターフェイス <code>REASON_CALLPARKREMINDER</code> を使用してください。</p>
<p><code>com.cisco.jtapi.extensions.CiscoFeatureReason.REASON_PARKREMAINDER</code></p> <p><code>REASON_PARKREMINDER</code> を使用してください。</p>
<p><code>com.cisco.jtapi.extensions.CiscoProviderCapabilityChangedEv.SUPERPROVIDER</code></p> <p>この定数はどのインターフェイスからも返されません。アプリケーションでは使用しないでください。</p>

非推奨メソッド

非推奨メソッド
<p><code>com.cisco.jtapi.extensions.CiscoTermDataEv.getData()</code></p> <p><code>byte[] getTermData</code> を使用してください。</p>
<p><code>com.cisco.jtapi.extensions.CiscoJtapiException.getErrorDescription(int)</code></p> <p>代わりに、<code>String getErrorDescription ();</code> を使用してください。</p>
<p><code>com.cisco.jtapi.extensions.CiscoJtapiException.getErrorName(int)</code></p> <p>代わりに、<code>String getErrorName ();</code> を使用してください。</p>
<p><code>com.cisco.jtapi.extensions.CiscoConsultCallActiveEv.getHeldTerminalConnection()</code></p> <p><code>CiscoConsultCall.getConsultingTerminalConnection()</code> に置き換えられました。</p>
<p><code>com.cisco.jtapi.extensions.CiscoCall.getLastRedirectingPartyInfo()</code></p> <p><code>getLastRedirectedPartyInfo()</code> を使用してください。</p>
<p><code>com.cisco.jtapi.extensions.CiscoAddress.getRegistrationState()</code></p> <p>このメソッドは <code>getState()</code> メソッドに置き換えられました。</p>
<p><code>com.cisco.jtapi.extensions.CiscoTerminal.getRegistrationState()</code></p> <p>このメソッドは <code>getState()</code> メソッドに置き換えられました。</p>
<p><code>com.cisco.jtapi.extensions.CiscoMediaTerminal.register(InetAddress, int)</code></p>
<p><code>com.cisco.jtapi.extensions.CiscoTerminal.sendData(String)</code></p>

非推奨メソッド

`com.cisco.jtapi.extensions.CiscoJtapiProperties.setSecurityPropertyForInstance(String, String, String, String, String, String, String, String, String, boolean)`

このメソッドは、オーバーロードされたメソッド `setSecurityPropertyForInstance` に置き換えられました。このメソッドは、Java キーストアのパスフレーズである追加のパラメータ `certStorePassphrase` を取ります。このメソッドにはセキュリティの脆弱性がある可能性があります。

`com.cisco.services.tracing.TraceManager.setSubFacilities(String[])`

`TraceManager.addSubFacilities` メソッドに置き換えられました。

`com.cisco.services.tracing.implementation.TraceManagerImpl.setSubFacilities(String[])`

`addSubFacilities(String[])` に置き換えられました。

`com.cisco.services.tracing.TraceManager.setSubFacility(String)`

`TraceManager.addSubFacility` メソッドに置き換えられました。

`com.cisco.services.tracing.implementation.TraceManagerImpl.setSubFacility(String)`

`addSubFacility(String)` に置き換えられました。

`com.cisco.jtapi.extensions.CiscoJtapiProperties.updateCertificate(String, String, String, String, String, String, String, String)`

このメソッドは、オーバーロードされたメソッド `updateCertificate` に置き換えられました。このメソッドは、Java キーストアのパスフレーズである追加のパラメータ `certStorePassphrase` を取ります。このメソッドにはセキュリティの脆弱性がある可能性があります。

`com.cisco.jtapi.extensions.CiscoJtapiProperties.updateServerCertificate(String, String, String, String, String)`

このメソッドは、オーバーロードされたメソッド `updateServerCertificate` に置き換えられました。このメソッドは、Java キーストアのパスフレーズである追加のパラメータ `certStorePassphrase` を取ります。このメソッドにはセキュリティの脆弱性がある可能性があります。

